

令和5年山形県柔道選手権大会実施要項

1 目的

県内居住の選手を対象に試合を行い、更なる技能等の向上を図る。

2 主催

山形県柔道連盟

3 日時

令和5年2月5日（日） 午前9時30分（開会式）

同 9時00分（審判監督会議）

4 場所

山形県総合運動公園内武道館

〒994-0000 山形県天童市 山王 1-1 TEL 023-655-5900（代表）

5 出場資格

(1) 選手は、県内に居住、勤務、在学のうち、何れかの条件を満たすこと。

（卒業、転勤等により上記条件を満たすことが確定している場合には、出場できる。ただし、この場合、速やかに登録変更の手続きを行わなければならない。）

(2) 選手は、日本国籍を有し、全日本柔道連盟に登録していること。

(3) 参加条件（これを満たしていない者の出場は認めない。）

ア 高校生の出場条件（男子のみ）

令和4年度の全国高校柔道選手権県予選、インターハイ県予選、国体県予選及び新人戦の何れかにおいてベスト4以上の成績を収めた者。

イ 中学生の出場条件

女子に限り、中学2年生以上で当該保護者の承諾を得た者。

6 試合方法

(1) 男女とも無差別のトーナメント戦とし、3位決定戦を行う。

(2) 男子については、東北柔道選手権補欠選手選考のため、準々決勝敗退選手による5位決定戦を行う。

7 審判等

(1) 最新の「国際柔道連盟試合審判規定」で行う。

(2) 試合時間は、男女とも4分間とする。スコアに差が無い場合はゴールデンスコアによる時間無制限の延長戦を行う。

(3) 判定基準は「技あり」以上、または「反則負け」とする。

審判は1審制とし、ケアシステムによるビデオ確認を行う。

(4) 柔道衣は、全柔連柔道衣規格に適合した柔道衣（上衣、下穿はI J F赤ラベル及び「J U」から始まる赤文字のみ可、帯はI J F赤、青ラベル及び「J U」から始まる赤文字、黒文字全て可）を着用すること。

背中に名字と所属を明示したゼッケンを縫い付けること。（最初から付いていない者は、出場資格がないものとする。） 【規格外は出場資格を失う】

その方法は次の図の例による。

図1 ゼッケンの位置

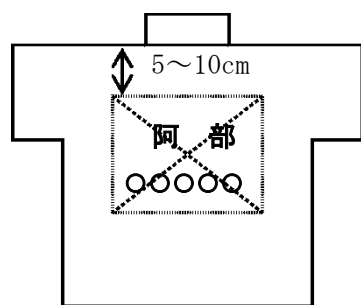
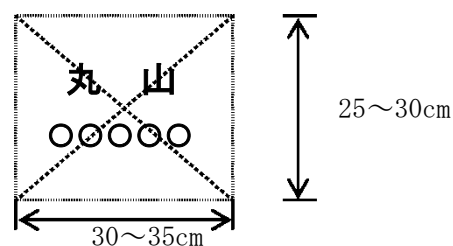


図2 ゼッケンの縫い付け方



ア 図1の位置に付けること(図2の ……部分を縫い付けること)。

イ 名字(姓)は上側2/3、県名は下側1/3で横書きとする。

ウ 書体は、太いゴシック体(または明朝体)とし、男子は黒色、女子は濃赤色とする。

エ サイズは縦25~30cm、横30~35cmとする。

オ 試合直前又は試合中にゼッケンの二重貼付が発覚した場合「不戦負け」又は「反則負け」が適用される。(代替の柔道衣は認めない。)

8 脳震盪対応について(該当者:20歳未満の選手)

- (1) 大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場許可を得ること。
- (2) 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。(なお、至急、専門医(脳神経外科)の精査を受けること。)
- (3) 練習再開に際しては、脳神経外科の診察を受け、許可を得ること。
- (4) 当該選手の指導者は、大会事務局及び全柔連に対し、書面により事故報告を提出すること。

9 受付

大会当日、午前8時45分から同9時15分までとする。

10 表彰

第3位まで表彰し、優勝者には優勝杯を授与する。

11 出場申込み

- (1) 出場を希望する者は、所定の申込書に必要事項を記載の上、以下の期日まで必着の手続きをとること。

☆ 令和5年1月15日(日)午後3時まで必着

- (2) 申込先及び照会先(メールでの申込みを推奨します。)

〒990-2161 山形県柔道連盟事務局長 開 沼 敏 行

Tel: 090-1064-8824 FAX: 023-645-2149

e-mail: tqsm087@ybb.ne.jp (事務局あて)

*メールでの申し込みを推奨します。(当連盟HPに申込フォームを掲載します。)

12 参加料: 1人 1,500円(傷害見舞金を含む)

* 大会当日受付で徴収するので必ず納めること。

13 その他

本大会の成績をもとに強化委員会で以下の選手を決定する。

- (1) 全日本柔道選手権大会東北予選会出場者4名
- (2) 全日本女子柔道選手権大会東北予選会出場者3名

14 新型コロナ感染予防対策について

- (1) 新型コロナウイルスに係るクラスターの発生を予防し、もし感染が発生した場合の濃厚接触者の追跡を容易にするため、大会参加者（選手、監督、役員、係員等）は、大会1週間前（大会当日を含む）からの体温と症状の有無を記した日本スポーツ協会が推奨する体温・体調記録アプリ「GLOBAL SAFETY」をダウンロードし、大会参加1週間前（大会当日を含む）と終了後1週間の行動記録と健康観察を記録し、競技会場への入退場時にはこれを証明すること。
- (2) アプリの活用が困難な参加者においては、別添「健康記録表」をもってこれに代える。

上記、2つの手段により大会参加1週間前（大会当日を含む）の行動記録と健康観察記録が証明できない場合には、競技会場への入場はできない。

- (3) 「GLOBAL SAFETY」をダウンロードと利用方法
ア 右のQRコードよりダウンロードできる。
イ 利用方法は以下からダウンロードできる。

<https://www.gshc2020.com/>



- (4) 入場に当たっては、改めて体温測定を行う。
健康記録表に異常がある場合や以下の場合には原則入場できない。
 - 体調がよくない場合（37.0度を超えるような発熱、咳、嗅覚・味覚に異常等がある場合）
 - 同居家族や身近な知人等に感染が疑われる方がいる場合
また入場しても発熱や身近な知人等に感染が疑われる方がいる場合
- (5) 具体的な感染予防措置
全ての参加者（選手、監督、役員、係員等）は、大会会場に入場する場合、**不織布マスク**の着用、手洗い、手指の消毒等を確実に実施すること。
※ 選手も対戦中以外は、マスクを着用すること。
- (6) 役員、審判員及び係員の対応
役員、係員は、ソーシャルディスタンスを確保し、常時マスクの着用を原則とする。
審判員もマスク又はマウスシールドを着装する。

15 その他

- (1) 本大会は「**無観客**」で行う。
- (2) 選手以外に入場できる練習相手は、男女それぞれ、所属団体参加人数が奇数の場合のみ、1名とする（参加人数+練習相手が偶数）。
- (3) 男女それぞれ1所属団体につき、1名のコーチが入場することができる。
- (4) 皮膚真菌症（トングランス感染症）については、発症の有無を各所属団体の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行なうこと。もし、選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合もある。

16 更衣場所

- (1) 男子の更衣場所は、1階剣道場とする。

- (2) 女子の更衣場所は、武道館男女更衣室とする。
- (3) 他団体との会話は厳に慎むと。
- (4) 敗退した選手は、速やかに会場から退出すること。
 - * 参加申込用紙に記載された個人情報が、県柔連ホームページに掲載される場合があります。

別添 健康記録表(大会1週間用)

令和5年山形県柔道選手権大会 氏名 _____ 連絡先(携帯) _____

①参加者自身で下記の症状があるかないか記載してください。(大会当日朝まで1週間分記入)

②ご自身の健康に不安がある際は、医療機関や保健所に直接ご相談ください。

月 日(曜日)	1/31(月)	2/1(火)	2/2(水)	2/3(木)	2/4(金)	2/5(土)	2/6(日)
測定した時間	時	時	時	時	時	時	時
体温	度	度	度	度	度	度	度
強いだるさ	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし
息苦しさ	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし
のどの痛み	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし
くしゃみ	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし
咳	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし
たん	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし
味覚の変化	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし
嗅覚の変化	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし
その他(嘔吐・腹痛・下痢等)							